



農地局

静岡県土地改良事業団体連合会が第7回インフラメンテナンス大賞で優秀賞を受賞

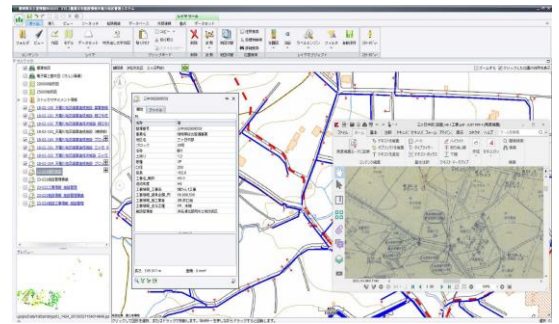
静岡県土地改良事業団体連合会が「第7回インフラメンテナンス大賞」で優秀賞を受賞しました。

この表彰は、日本国内における社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、好事例として広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的としており、本県では、これまでに2団体（第4回：特定非営利活動法人 グラウンドワーク三島、第6回：磐田用水東部土地改良区）が優秀賞を受賞しています。

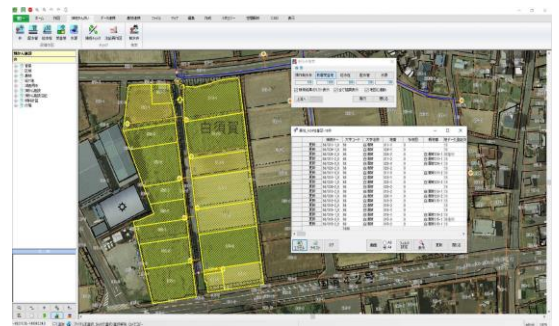
受賞を契機として、今後も常に新たな技術を取り入れ、柔軟に対応していくとともに、関係機関や地域と連携し、農業用施設の適切な管理が継続されるものと期待されます。

なお、表彰式は東京都で1月22日（月）に行われます。詳細はHPをご覧ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000321.html



クラウド型水土里情報システムの画面



スタンドアロン型水土里情報システムの画面

団 体	静岡県土地改良事業団体連合会
取 組	県・市町・改良区と共有可能でカスタマイズもできるGISシステムを活用した施設管理
活動・評価	<p>静岡県土地改良事業団体連合会のGISシステム（水土里情報システム）はクラウド型とスタンドアロン型の2種類をラインナップしており、目的別に使い分けが可能であり、利用者に応じた利便性を高め、維持管理を行っていることが評価された。</p> <p>クラウド型は様々なデータを共有し、国・県・市町・土地改良区などが閲覧・検索・印刷等を行なうことが可能となっており、本会の会員サービスの一環として、県内市町や改良区等が無償で利用できる。一方、スタンドアロン型は、クラウド型に比べ高機能であり、オプションで農業集落排水・上水道及び畑地かんがい施設の管路管理など、使用する機関のニーズにあわせた機能のカスタマイズが可能である。</p>

「静波原地区基盤整備組合」（牧之原市）が関東農政局 土地改良事業地区営農推進功労者表彰を受賞



表彰式の様子（12月14日）

牧之原市の「静波原地区基盤整備組合」が令和5年度関東農政局土地改良事業地区営農推進功労者表彰を受賞し、令和5年12月14日（木）に埼玉県で表彰式が行われました。



受賞を受け、令和6年1月5日（金）には、組合代表の原間秀樹氏が牧之原市役所榛原庁舎で杉本基久雄市長に喜びを報告しました。

この表彰は、関東農政局管内の国営及び県営土地改良事業地区において、生産技術の向上と農業経営の改善のための創意工夫を意欲的に行うことによって、他の模範となり、事業推進・営農推進に著しく功績のあった団体を表彰しており、本県ではこれまでに8団体が受賞しています。

受賞を契機に、本取組が本県の茶園基盤整備のモデルケースとなることで、県内他地域においても、担い手への農地集積・集約化を通じた荒廃農地発生の抑制や、優良農地の確保、多彩な茶業の展開による輸出を見据えた生産拡大の動きが広まることが期待されます。



市長表敬の様子（1月5日）

団 体	静波原地区基盤整備組合
代 表	組合長：原間秀樹
活動・評価	<p>①小規模不整形な茶園の大区画化や園内道路、枕地の整備により、乗用型茶園管理機の導入を推進し、栽培管理の軽減や生産コストの削減を実現。</p> <p>②農地所有適格法人を含む担い手への農地集積・集約化を推進し、農業経営の安定化を推進。</p> <p>③全国初の茶園の農地中間管理機構関連農地整備事業を実施。基盤整備モデル地区として、他地区への波及推進の一翼を担う。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  ➡  </div> <p style="text-align: center;">整備前（集積率14.5%） 整備後（集積率87.2%）</p>

御殿場

ボックスカルバートのコンクリート打設に関する
実地OJT研修を行いました！

東部農林事務所御殿場支所では、東富士演習場周辺障害防止対策事業の一環として、洪水被害の発生防止を目的に演習場外下流の河川改修工事を行っています。

現在は、主に御殿場市と小山町にまたがる小山佐野川の改修工事を進めており、今年度は現場打ちボックスカルバート工事と護岸改修工事を行っています。

令和5年12月27日（水）、本工事1回目となる下部のコンクリート打設が実施されました。

併せて、御殿場支所職員を対象に現地見学会（OJT研修）を行い、鉄筋コンクリート構造物の設計や施工上の留意点、仮設計画について職員間で情報共有や意見交換を行いました。

これからも現場の安全を最優先に心掛けながら、事業の進捗を図ってまいります。



東部農林事務所御殿場支所 0550-82-1611

西部

久留女木の棚田で活動支援に感謝する
収穫祭が行われました！

令和5年12月10日（日）、久留女木の棚田において収穫祭が開催されました。

つなぐ棚田遺産に認定された久留女木の棚田では、多様な主体を巻き込んで棚田の保全を行っており、地域内外から参加者を募る田植えや稲刈りの体験、地元企業や大学生と協働した耕作放棄地の解消、地元アパレルメーカーや福祉事業所との綿花栽培プロジェクト等、様々な活動に取り組んでいます。

当日は、約120名が訪れ、大根の収穫体験や綿花から種を取る綿繰り体験、サポーターへの返礼品（棚田米）授与式等が行われました。

また、棚田に建設した休憩場所等として利用する研修小屋のお披露目も行われました。

西部農林事務所では、今後も棚田の保全活動を支援していきます。

西部農林事務所農村整備課 053-458-7225